

(社) 日本原子力学会 標準委員会 リスク専門部会  
第 35 回 外的事象 PRA 分科会 議事録

日 時： 2024 年 7 月 25 日(木) 14:00～16:30

場 所： Microsoft Teams 会議

配布資料

- RK6SC 35-1 第 34 回外的事象 PRA 分科会議事録 (案)
- RK6SC 35-2-1 人事について
- RK6SC 35-2-2 外的事象 PRA 委員名簿 2024/4/22 版
- 
- RK6SC 35-3-1 標準委員会書面投票 報告資料
- RK6SC 35-3-2 外部ハザード選定基準 改定案について
- RK6SC 35-3-3 外部ハザード選定基準 リスク専門部会 書面投票 意見コメント対応
- RK6SC 35-3-4 外部ハザード選定基準 誤記チェックについて
- RK6SC 35-3-5 外部ハザード選定基準 改定案
- RK6SC 35-3-6 外部ハザード選定基準 転載許諾整理リスト案
- RK6SC 35-3-7 外部ハザードに対するリスク評価方法手引きの改定について
- 
- RK6SC 35-4-1-1 地震 PRA 標準原案 試し印刷後の誤字・脱字チェックについて
- RK6SC 35-4-1-1 地震 PRA 標準原案 最終版 r7
- RK6SC 35-4-2-1-1 “地震 PRA 標準 評価適用事例集” 技術レポート原案に関する書面投票  
【RKTC24-01】の結果について
- RK6SC 35-4-2-1-2 “地震 PRA 標準 評価適用事例集” リスク専門部会 (本報告) コメント対応表
- RK6SC 35-4-2-2-1 “地震 PRA 標準 評価適用事例集” 技術レポート原案の中間報告の意見募集  
【SC24-03】の結果について
- RK6SC 35-4-2-2-2 “地震 PRA 標準 評価適用事例集” 標準委員会 (中間報告) コメント対応表

議題：

1. 定足数確認, 資料確認
2. 前回議事録の確認
3. 人事関連
4. 外部ハザードのリスク評価方法選定標準および手引の改定
5. 地震 PRA 標準の評価適用事例 改定
6. その他、次回日程

出席委員(16名)： 糸井主査 (東大)、桐本幹事 (電中研)、足立委員 (大林組)、内山委員 (大成建設)、越智委員 (中部電)、片桐委員候補

(NEL)、佐藤委員(東芝 ESS)、中島委員(電中研)、西田委員(JAEA)、沼田委員候補(関電)、廣川委員(日立 GE)、前田委員候補(テプシス)、美原委員(鹿島)、三輪委員(MHI)、山野委員(JAEA)、渡邊委員候補(東電 HD)

欠席委員(2名)：栗田委員(東電設計)、砂川委員(北海道電)

出席常時参加者(5名)：倉本(NEL)、高橋(鹿島)、寺垣候補(規制庁)、根岸(原電エンジニアリング)、橋本(電中研)

欠席常時参加者(2名)：安達(テプシス)、梁田候補(規制庁)

参加者：原口(MHI)、藤岡(日立 GE)(地震 PRA 作業会)、足立(大林組)

### (1) 定足数の確認

会議に先立ち、委員 18 名中 15 名(内、委員候補 4 名)が出席しており、定足数を満たしていることが確認された。また、資料確認が行われた。

### (2) 前回議事録の確認

桐本幹事から、前回議事録の内容が説明された。

糸井主査からの指摘と補足があり、以下を修正して承認された。

- ・ (7)の「F1? 0.3」は「F1 の対数標準偏差を 0.3」とする。
- ・ (5)の「それ以外の隆起をどう読めばよいのかを地震 PRA 作業会でも確認」  
以下を追記「→ 地震 PRA 作業会での確認の結果、海溝型だけでなく地殻内地震型もあつかえる事がわかった。しかし、事例が少ないため今後の検討も必要である。」

### (3) 人事について

桐本幹事から報告され、委員 4 名、常時参加者 2 名が承認された。

### (4) 外的ハザード評価方法選定標準 改定案コメント対応について

片桐委員より、外的ハザード評価方法選定標準の改定案のリスク専門部会コメント対応及び標準改定案について説明が行われた。また、手引の改定について議論を行った。

今回の修正をもって、リスク専門部会の書面投票の回答とすることが了承された。

以下の議論があった。

・ No3 コメントについて、外部ハザードの「地盤変動」の中の、「断層変位」と「地盤隆起沈降」を 2 つの行として分ける。備考欄の記載は「地盤隆起沈降」に記載し、「断層変位」の備考欄は空欄とする。資料の修正は三役で対応するものとする。

・ 修正は、断層変位 PRA 分科会幹事の酒井氏及び、コメントを頂いた方に確認をする。

- ・ B.1 のサイト・プラントウォークダウンの実施の中に及びが2つあるが一つは並びに修正
- ・ 転載許諾の手続きについては、学会の事務局に書式を出すと手続きをしてもらえると認識しているが、転載許諾の手続きが終わらないと公衆審査に出せないとの認識である。
- ・ 書面投票後の修正なので、今回の対応は内容上の修正でないことを確認した。
- ・ 外部ハザードに対するリスク評価方法手引きについては、今後意見募集をすることとした。

#### **(5) 地震 PRA 標準原案 試し印刷後の誤字・脱字チェックについて**

地震 PRA 作業会根岸幹事より、地震 PRA 標準原案 試し印刷後の誤字・脱字チェックについて報告された。

今回の報告により、本対応内容でリスク専門部会および標準委員会まで報告することが了承された。

#### **(6) 地震 PRA 標準 評価適用事例の書面投票結果及びコメント対応について**

地震 PRA 作業会の錦見委員、より、適用評価事例の書面投票結果が可決したこと、および頂いたコメントへの対応について報告された。

また、標準委員会の中間報告についても説明され、頂いたコメントの紹介があった。

今回の対応によりリスク専門部会及び標準委員会の本報告に進むことが承認された。

#### **(7) その他、次回日程**

- ・ 次回は 2024/11/6 13:30～ Teams 会議で実施予定。

#### **(8) 倫理教育の実施**

- ・ 標準委員会で開催された倫理教育のビデオを参照し、意見の収集を行った。

以上